

スキマ時間で始める!

# Autodesk Fusion

14<sup>サ/7  
サ/7</sup>日間入門コース

塩澤 豊 著



試し読み

for preview only

定価：2,970円  
(本体2,700円+税)

スキマ時間で始める！

# Autodesk Fusion

14日間 入門コース

塩澤 豊 著

## ダウンロードデータと書籍情報について

本書のウェブページでは、ダウンロードデータ、追加・更新情報、発売日以降に判明した誤植（正誤）などを掲載しています。

また本書に関するお問い合わせの際は、事前に下記ページをご確認ください。

<https://www.borndigital.co.jp/book/9784862465740/>

- ※本書では、基本的にWindows 11環境およびブラウザはGoogle Chromeで操作説明を行います。Macでの操作は必要に応じて説明します。
- ※ご使用の環境（OS）やアプリケーションのバージョンにより、一部画面キャプチャやUI名称、機能等が異なる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ※本書の刊行から一定期間内は、Fusionに関する情報（掲載しているWebサイトのURLや機能名称の変更など）で更新されたものをリストにして、書籍ページにて配布しています。

### ■著作権に関するご注意

本書は著作権上の保護を受けています。論評目的の抜粋や引用を除いて、著作権者および出版社の承諾なしに複製することはできません。本書やその一部の複写作成は個人使用目的以外のいかなる理由であれ、著作権法違反になります。

### ■責任と保証の制限

本書の著者、編集者および出版社は、本書を作成するにあたり最大限の努力をしました。但し、本書の内容に関して明示、非明示に関わらず、いかなる保証も致しません。本書の内容、それによって得られた成果の利用に関して、または、その結果として生じた偶発的、間接的損傷に関して一切の責任を負いません。

### ■商標

本書に記載されている製品名、会社名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。本書では、商標を所有する会社や組織の一覧を明示すること、または商標名を記載するたびに商標記号を挿入することは特別な場合を除き行っていません。本書は、商標名を編集上の目的だけで使用しています。商標所有者の利益は厳守されており、商標の権利を侵害する意図は全くありません。

## はじめに

本書を手にとっていただき、ありがとうございます。筆者がAutodesk Fusionに出会って（2013年に英語版がリリースされてから）、早いもので約10年が経ちました。2015年には日本語化され、すごい勢いで利用者が増えたことを今でも記憶しています。年を重ねるごとに機能強化と改善が繰り返され、複雑な機械設計や製造に必要な機能が実装され、製造業におけるツール導入もかなり進んでいると聞いています。学生や個人の趣味用途での利用も盛んで、皆さん3Dプリンタなどでのもの作りを楽しんでいらっしゃるようです。

2022年10月に、「初心者向けの書籍を執筆してみないか」とお話をいただきました。それも「2週間で習得できる本」というリクエストで、正直2週間では難しいと思いましたし、すでに学ぶための書籍やYouTube動画も多く、「今さらニーズがあるのか?」とも思いました。少し考える時間をいただき、どんな本が求められているかを考えてみたところ、3Dモデリングに特化した内容であれば、利用者の助けになるかもしれないと考え直しました。

というのも、筆者は設計経験のない方にAutodesk Fusionを教える機会が度々あるのですが、受講者の中には、すでに何らかの書籍で学んでいるのに、「本に書かれていなかったことが学べて大変役に立った。理解が深まった」と言ってくれる方が多かったです（筆者が教えていたのは、3Dモデリングと図面作成だけだったのですが...）。こうして、初心者の方がAutodesk Fusionで3Dモデリングを習得するため、またはすでに書籍などで学んだ方がさらに理解を深めるための内容で、執筆させていただくことにしました。

Autodesk Fusionの機能は多岐に渡りますが、初心者が学ぶ上で、まずは基本的な3Dモデリング機能を習得することが必須です。3Dモデリングは、Autodesk Fusionの中で最も基本的な機能であり、この機能を理解できれば、より高度な機能の習得にも繋がります。

本書では、Autodesk Fusionの基本操作から始まり、設計について考え、様々なモデリングの課題に挑戦していただきます。14日間の14章構成で、1章あたり約1時間で行き届けるようにしたつもりです。前半のDay7までは、Autodesk Fusionでの3Dモデリングの基本操作を習得するための内容で、スケッチの作成方法や、フィーチャの使い方などを学びます。後半のDay8からは、基礎を身につけた上で、実践的な課題に挑戦できます。スマホケースや立体パズル、踏み台など、初心者でも取り組みやすい課題を用意しました。

本書を通じて、Autodesk Fusionのモデリング機能を習得し、自分だけのオリジナルモデルを作成できるようにすることを目指しましょう。

※校了直前の2024年1月末に、ソフトウェアの名前が「Fusion 360」から「Autodesk Fusion」に変更されました。ソフトウェアのキャプチャ画像やWebサイトなど、可能な限り最新のものと変更しましたが、刊行後の更新情報などは、本書のウェブページをご確認ください。



## アカウントとインストール

8

- 1-1 Autodesk IDを作成しよう ..... 8
- 1-2 ソフトウェアをインストールしよう ..... 10
- 1-3 ユーザインタフェースを確認しよう ..... 15
- 1-4 基本の設定をしよう ..... 18
- 1-5 ヘルプ、サンプルを確認しよう ..... 19



## 起動～モデリング～保存の流れ

22

- 2-1 新規デザインを作成しよう ..... 22
- 2-2 スケッチを作成しよう ..... 23
- 2-3 ボディを作成（押し出し）しよう ..... 25
- 2-4 ボディを編集しよう ..... 26
- 2-5 ボディを修正（シェル／フィレット）しよう ..... 27
- 2-6 デザインを保存しよう ..... 32
- まとめと課外授業 ..... 33



## スケッチ

34

- 3-1 スケッチを完全拘束しよう ..... 34
- 3-2 スケッチのコマンドを確認しよう ..... 38
- 3-3 スケッチを練習しよう ..... 40
- 3-4 ベクターデータを取り込もう ..... 55
- まとめと課外授業 ..... 57



## フィーチャ #1

58

|     |              |    |
|-----|--------------|----|
| 4-1 | デザイン履歴を確認しよう | 58 |
| 4-2 | フィーチャを理解しよう  | 60 |
| 4-3 | フィーチャを作成しよう  | 62 |
|     | まとめと課外授業     | 69 |



## フィーチャ #2

72

|     |             |    |
|-----|-------------|----|
| 5-1 | フィーチャを作成しよう | 72 |
| 5-2 | パラメータを理解しよう | 83 |
|     | まとめと課外授業    | 86 |



## ボディ&コンポーネント

88

|     |               |     |
|-----|---------------|-----|
| 6-1 | ボディを理解して作成しよう | 88  |
| 6-2 | コンポーネント化しよう   | 99  |
|     | まとめと課外授業      | 105 |



## 図面

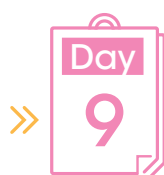
106

|     |             |     |
|-----|-------------|-----|
| 7-1 | 新規で図面を作成しよう | 106 |
| 7-2 | 図面を仕上げよう    | 112 |
| 7-3 | 図面を印刷しよう    | 116 |
|     | まとめと課外授業    | 117 |



## 自分で学習する 118

- 8-1 様々な学習方法を知ろう ..... 118
- 8-2 他者が作成したモデルから学ぼう ..... 123
- 8-3 エラーを解決しよう ..... 129
- まとめと課外授業 ..... 133



## デザインプロセス 134

- 9-1 アイデアを出そう ..... 134
- 9-2 3Dモデリングをしよう ..... 136
- 9-3 DIY (3D プリント) しよう ..... 140
- まとめと課外授業 ..... 143



## デザインプロジェクト #1 144

- 10-1 スマホをモデリングしよう ..... 145
- 10-2 ケースを設計しよう ..... 149
- 10-3 ケースの加工／組み立てをしよう ..... 153
- まとめと課外授業 ..... 159



## デザインプロジェクト #2 160

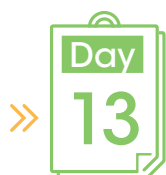
- 11-1 デザインプロジェクト #2-1 頭のオブジェ ..... 160
- 11-2 デザインプロジェクト #2-2 踏み台 ..... 170
- まとめと課外授業 ..... 177



## 室内レイアウト

178

|                        |     |
|------------------------|-----|
| 12-1 部屋をモデリングしよう ..... | 178 |
| 12-2 家具をモデリングしよう ..... | 181 |
| 12-3 レイアウトしよう .....    | 184 |
| まとめと課外授業 .....         | 187 |



## 実際のプロジェクト紹介

188

|                                                 |     |
|-------------------------------------------------|-----|
| 13-1 軽バン・軽ワゴン用の車中泊DIYキット<br>「VAN DE Boom」 ..... | 188 |
| 13-2 帆船型ドローン「Type A」 .....                      | 194 |



## データ確認と他ソフト連携

198

|                            |     |
|----------------------------|-----|
| 14-1 Webブラウザ&モバイルアプリ ..... | 198 |
| 14-2 他ソフトとのデータ交換 .....     | 202 |
| 14-3 加工請負サービス .....        | 204 |
| まとめと課外授業 .....             | 205 |

# アカウントとインストール

初日は、Autodesk Fusion（以下、Fusion）を学ぶための準備をしていきましょう。下記が本日の作業の流れです。

- ▶ **1-1** Autodesk IDの作成
- ▶ **1-2** ソフトウェアのインストール
- ▶ **1-3** ユーザインタフェースの確認
- ▶ **1-4** 基本設定
- ▶ **1-5** ヘルプ、サンプルの確認

※本書の説明は、2024年2月時点のものになります。AutodeskによってAutodesk IDの作成やインストール方法などが変更される場合は、弊社書籍ページ (<https://www.borndigital.co.jp/book/9784862465740/>) に変更に対応した情報を掲載する予定です。

## 1-1

## Autodesk IDを作成しよう

Fusionを使うには、コンピュータにプログラムをインストールする必要があります（一部の機能はWebブラウザでも動きますが、現段階では機能が限定されているためおすすめできません）。プログラムをインストールするには、Autodesk IDが必要です。これは、名前、メールアドレス、自分で決めたパスワードで作成できます。

さあ、インターネットに繋いで準備を開始しましょう！

- 1 AutodeskのWebサイト (<https://www.autodesk.co.jp>) にアクセスし、右上の[サイン イン]をクリックします。



- 2 ページが表示されたら、[アカウントを作成]をクリックします。

サインイン


電子メール

次へ

初めてオートデスクをご利用ですか? [アカウントを作成](#)

- 3 名前、メールアドレス、パスワードを入力し、使用規約などの同意にチェックを入れて[アカウントを作成]をクリックします。

### アカウントを作成

名 姓

電子メール

電子メール(再入力)

パスワード

☒ Autodesk 使用規約およびプライバシー ステートメントに同意します。

**アカウントを作成**

既にアカウントをお持ちですか? [サインイン](#)

- 4 「アカウントが作成されました」というページが表示されるので、[完了]をクリックします。

### アカウントが作成されました

この1つのアカウントで、ご使用のすべてのオートデスク製品にアクセスできます

☒ ニュース、トレンド、イベント、特別キャンペーン、アンケート調査など、オートデスクからの電子マーケティングコミュニケーションを受信するには、このチェックボックスにチェックを入れます。いつでも、設定を管理したり、登録を解除したりすることができます。詳細については、[オートデスク プライバシー ステートメント](#)を参照してください。

**完了**

- 5 登録したメールアドレスに認証メールが届きます。メール内のリンクをクリックするとWebブラウザが開くので、[完了]をクリックします。これでAutodesk IDを作成できました。

Autodesk アカウントを確認 [ヘルプを表示](#)

**AUTODESK**

### 電子メールを確認

Autodesk Account の使用を開始する前に、電子メールを確認する必要があります。このリンクは 60 分で有効期限が切れます。

**電子メールを確認**

[電子メールを確認]をクリックしても機能しない場合は、次のリンクをコピーしてブラウザに貼り付けてください。

Autodesk, Inc. • 111 Mission Parkway • San Rafael, CA 94903  
© Autodesk, Inc. All rights reserved. [このページの著作権と商標について](#)

このメールは自動配信されています。このメールに返信しないようお願いいたします。このメールに返信した場合は、このメールが破損している可能性があります。また、あらかじめご了承ください。

Autodesk, the Autodesk logo, AutoCAD and Revit are registered trademarks or trademarks of Autodesk, Inc., or its subsidiaries and/or affiliates in the USA and/or other countries. All other brand names, product names, or trademarks belong to their respective holders. Autodesk reserves the right to alter product offerings and specifications and pricing at any time without notice, and is not responsible for typographical or graphical errors that may appear in this document.

### アカウントは確認されました

この1つのアカウントで、ご使用のすべてのオートデスク製品にアクセスできます

**完了**

## 1-2

## ソフトウェアをインストールしよう

Autodesk IDを作成できたので、ソフトウェアをインストールしていきます。インストールするコンピュータは、いくつかの条件を満たしている必要があります。

## Column コンピュータの確認

コンピュータは、OSがWindows 10 Version 1809以降か、Windows 11、macOS 12 Monterey以降である必要があります。CPUやメモリ、グラフィックボードなどにも推奨されているものがあるので、下記を確認してみてください。

## Autodesk Fusion の動作環境

<https://www.autodesk.co.jp/support/technical/article/caas/sfdcarticles/sfdcarticles/JPN/System-requirements-for-Autodesk-Fusion-360.html>

コンピュータに詳しくない方は判断が難しいかもしれませんが、OSの条件を満たしていれば、ひとまずインストールしてみるのもいいでしょう(満たしていなければインストールできないはずです)。また、ノートPCで作業する方が多いと思いますが、Fusionなど3DCADの操作は、タッチパッドよりもマウスの方が効率的です。ホイール付きのマウスを用意することをおすすめします。

Fusionは、CAD、CAM、CAE、PCBが統合されたプロ向けのソフトウェアです。商用は、年間約10万円のサブスクリプションで利用することができ、拡張機能(エクステンション)を購入することで、より高度な機能を利用することも可能です。

個人や学生による非商用であれば、無償で制限付きの基本機能を利用できます(起業間もないスタートアップ企業限定に無償のライセンスも提供されています)。本書では、個人用の機能の範囲で作業を行います。

1 個人用Fusionの製品ページ(<https://www.autodesk.co.jp/products/fusion-360/personal>)から[個人用Autodesk Fusionにアクセス]をクリックします。

**個人用 Autodesk Fusion 360**

無償の機能限定版 (要好像内付)

個人用 Autodesk Fusion は、自宅で個人的に非商用目的のプロジェクトを行う場合に限り、無償で基本機能をご利用いただける機能限定版です。Autodesk Fusion を使用した作業による年間総収益が 1,000 米ドル未満の個人ユーザーを対象とします。

[個人用 Autodesk Fusion にアクセス](#) [まずは無償体験版で全機能をお試しください](#)

---

**個人用 Autodesk Fusion の機能**

機能限定版

**個人用 Autodesk Fusion**

個人用 Autodesk Fusion には、クラウドベースの設計ツールと 3D モデルリングツールに加えて、次の制限付き機能が含まれています。

- CAM の一部機能
- 単一ユーザーのデータ管理
- 電気回路設計と PCB 設計の一部機能
- 2D ドキュメント/図面作成の一部機能
- サポートはフォーラムのみ利用可能
- 一部ファイル形式の読み込み/書き出し

[個人用 Autodesk Fusion にアクセス](#)

¥95,800/年 (または ¥12,100/月)

**Autodesk Fusion のロックアップ**

商用版の Autodesk Fusion では、設計ツールや 3D モデルリングツールに加えて、CAM/CAE/PCB 開発プラットフォームの全機能をご利用いただけます。

- 設定 (CAD、CAM、CAE)
- 包括的な CAM 機能
- 広範なコラボレーションとデータ管理
- 統合された電気回路設計と PCB 設計
- 2D ドキュメント/図面作成の全機能
- 電話、電子メール、フォーラム、製品内のサポート
- すべてのファイル形式の読み込み/書き出し
- クラウドレンダリング
- クラウドシミュレーションや高度な加工機能のアップグレード

[無償体験版を試す](#)

- 2 Autodesk IDのメールアドレスとパスワードを入力して、[サイン イン]をクリックします(今後サイン インを求められることがあれば、この手順で進んでください)。

サイン イン

電子メール

パスワード

次へ

初めてオートデスクをご利用ですか? [アカウントを作成](#)

ようこそ

パスワード

サイン イン

☐ サインインを保持

- 3 申し込みフォームが表示されるので(英語のページが表示される場合は、右上の[US]をクリックして日本を選択します) すべての情報を入力し、同意項目にチェックを入れて[今すぐダウンロード]をクリックします。

AUTODESK

個人用 Fusion 360 ダウンロードお申し込みフォーム

個人用 Fusion 360 (Fusion 360 for personal use) は、自宅で非商用目的のプロジェクトを行う場合に限り、無償で基本機能にアクセスできる機能制限版です。年間総収益が 1,000 米ドル未満の個人ユーザーを対象とします。

ステップ: 1 2 3

Emailアドレス\*

次へ

戻る

ステップ: 1 2 3

名\*

姓\*

勤務先電話番号\*

次へ

戻る

ステップ: 1 2 3

国\*

日本

郵便番号\*

東京都

郵便番号\*

☒ オートデスクの利用規約、およびプライバシーポリシーに同意します。

☒ 業界ニュース、最新トレンド、特別キャンペーン情報を受領することに同意します。(こちらからいつでも受信設定の変更することができます。)

送信

個人用 Fusion 360 のダウンロードとインストール

下のボタンをクリックして、個人用 Fusion 360 のサブスクリプションをアクティブ化してください。

今すぐダウンロード

- 4 ページが切り替わるので、再度 [今すぐダウンロード] をクリックすると、ダウンロードフォルダに「Fusion Client Downloader.exe」がダウンロードされます (Mac の場合は「Fusion Client Downloader.dmg」)。

AUTODESK

Fusion 360

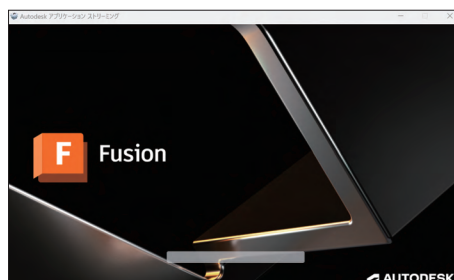
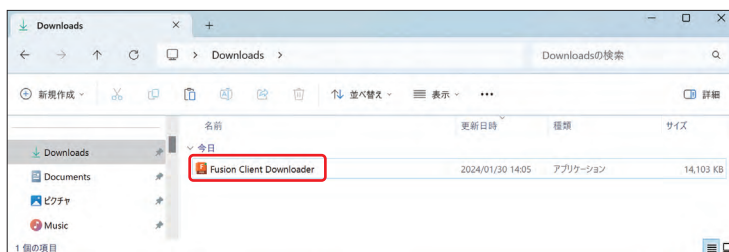
個人用 Fusion 360 のダウンロードとインストール

下のボタンをクリックして、個人用 Fusion 360 のサブスクリプションをアクティブ化してください。

今すぐダウンロード

5

ファイルをダブルクリックするとセットアップが開始されます。完了するとFusionが起動するので、再度[サインイン]をクリックします。



6

[製品に移動]をクリックし、続いて[Autodesk Identity Managerを開く]をクリックします。



7

チームの設定について案内されます。これは、Fusionで作成したドキュメントが格納されるクラウド上のスペースのことで、ほかの利用者もアクセスできるようにするための機能です。  
[次へ]をクリックし、[チームを作成]をクリックします。



8

チームの名前を入力し、[次へ]をクリックします。

様、Fusion へようこそ

チームの名前を入力してください。これは、メンバーをチームに招待したときにメンバーに表示される名前です。お客様はチームの最初のメンバーになり、他のメンバーが参加するまで誰もお客様のデータを表示することはできません。

9

[発見を許可しない]を選択して[作成]をクリックし、続いて[移動先チーム]をクリックします。

様、Fusion へようこそ

これからチーム  を作成します。公的機関または教育機関の電子メールアドレス()を使用しているため、チームは招待したメンバーにのみ表示されます。つまり、リストでチームを見つけたり、招待なしに参加することはできません。これは、データを保護するために行われます。

同僚が後で、自動でメンバーになるチームを作成するには、会社の電子メールアドレスを使用して Fusion にサインインする必要があります。これは、従業員が独自のチームを作成するのではなく、既存のチームに参加するようにしたい場合に役立ちます。このタイプのチームは、必要に応じて非公開にすることもできます。

☒ **発見を許可しない**  
 の他のメンバーに、お客様のチームを発見することを許可しません。各チームのメンバーを手動で招待する必要があります。

☐ 発見と自動参加を許可  
 お客様のチームを発見可能にし、 のメンバーの自動参加を許可します。

の使用準備が完了しました。

Fusion では、いつでも別のチームを作成または参加したり、名前の下にあるドロップダウンメニューでチームを切り替えることができます。



10

下図のようにチェックを入れて[OK]をクリックします。

### Fusion のエクスペリエンス向上

弊社が収集した使用状況データは、お客様が弊社製品をどのように利用されているのか、お客様が関心を示すような情報は何か、また、お客様とオートデスクとの関係をより価値あるものにするにはどのような改善が可能かを理解するために役立てます。

お客様のプライバシー設定については、こちらまたはお客様のプロフィールでいつでも管理することができます。詳細については、[分析プログラムページ](#)および [プライバシーステートメント](#)を参照してください。

---

**すべて選択**

- ☐ 必要なデータ収集。サービスや機能の提供および最適化、不正行為の検出、集計済み統計資料の作成、ならびに内部業務のサポートが可能になります。
- ☒ **新製品・新サービスの開発のための利用。** お客様の個々の利用データに基づいて新しい製品やサービス等を開発することが可能になります。
- ☐ お客様に合わせた製品やサービスのご案内。お客様の個々の利用データに基づいて、お客様にとって最適な製品やサービスのご案内、および宣伝コンテンツを作成できます。
- ☒ **学習パネル。** ユーザの使用状況データに基づいてコンテンツの表示、Fusion の使用に役立てることができます。学習パネルの[詳細はこちら](#)。

OK

11

さらに、個人用のドキュメントが10個まで編集可能であるという説明が表示されます（「編集可能」と「読み取り専用」で切り替えられるので、設計が終わったときは読み取り専用にしましょう）。

### Fusion ドキュメントについて

ご使用の Fusion 個人用版では、10 個の編集可能な Fusion ドキュメントと、無制限の読み取り専用ドキュメントで運用することができます。既に Fusion を使用している場合には、いったんすべての Fusion ドキュメントは読み取り専用になっています。データ パネルで、どのドキュメントを編集可能または読み取り専用にするかを管理してください。

編集可能

読み取り専用

この制限に基づく通知が送信され、ドキュメントを作業中に管理できるようになります。

9 / 10

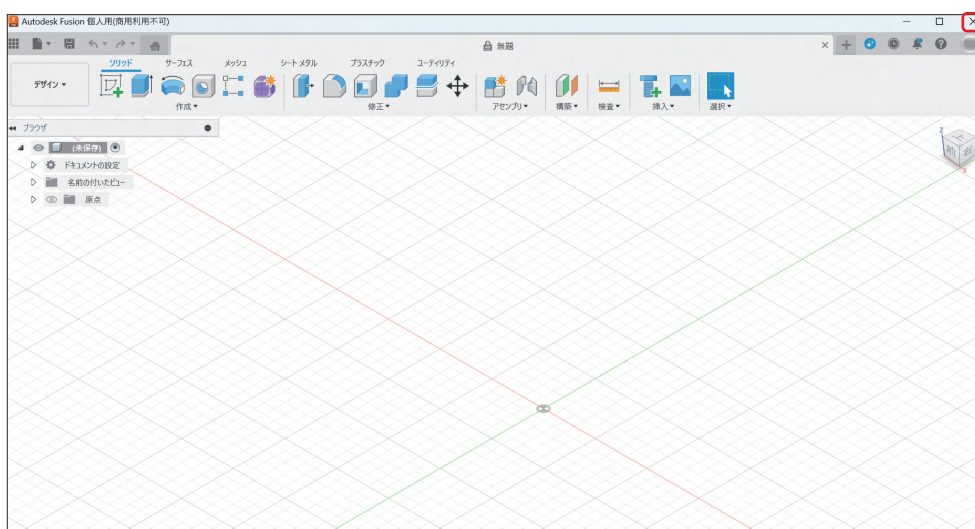
FS

[新しい制限事項に関する詳細情報](#)。④ Fusion のサブスクリプションメンバーになればこの制限が解除されます。

了解

12

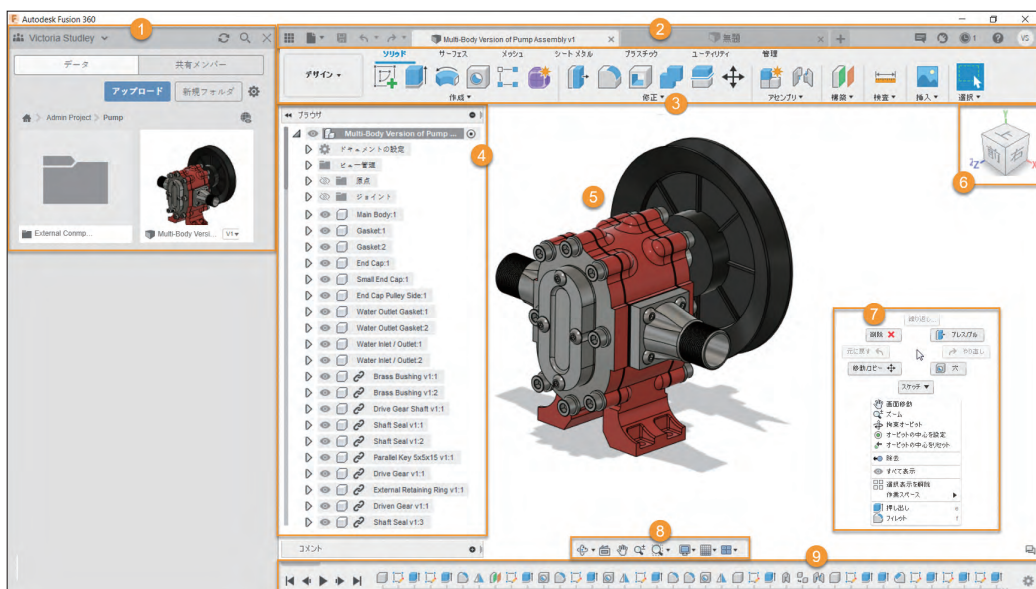
ウィンドウ右上の[×]をクリックし、Fusionを終了します(Macの場合は左上)。



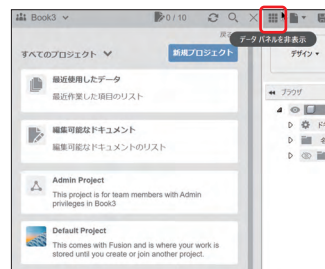
Fusionのウィンドウは、複数のエリアに分かれています。ここでは各エリアについて簡単に説明します。詳細は下記を確認してみてください。

## ✓ インタフェースの概要

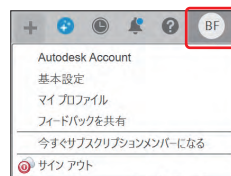
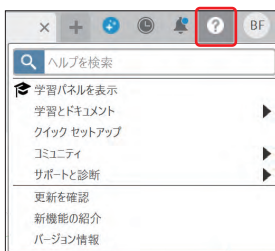
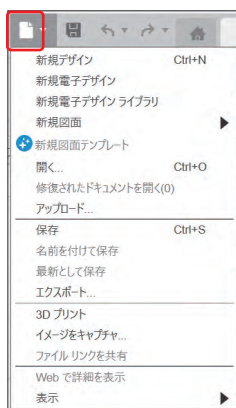
<https://help.autodesk.com/view/fusion360/JPN/?guid=GUID-E647CA56-7187-406A-ACE4-EAC59914FAE4>



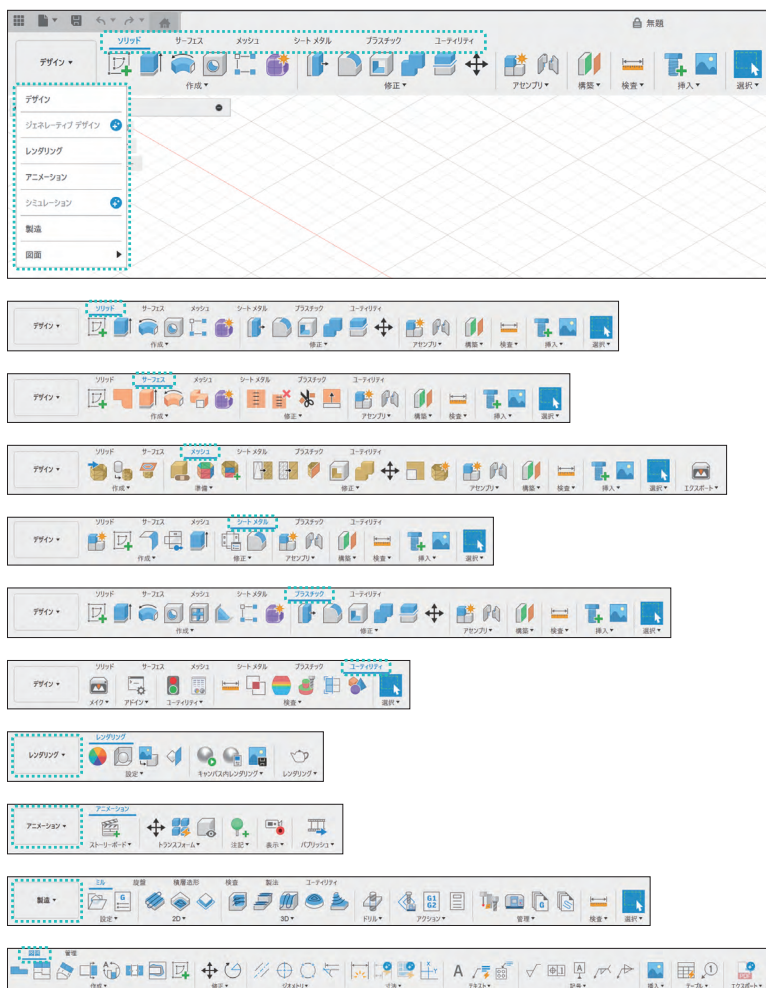
- ① データ パネル：クラウドに格納されているドキュメントが表示されます。



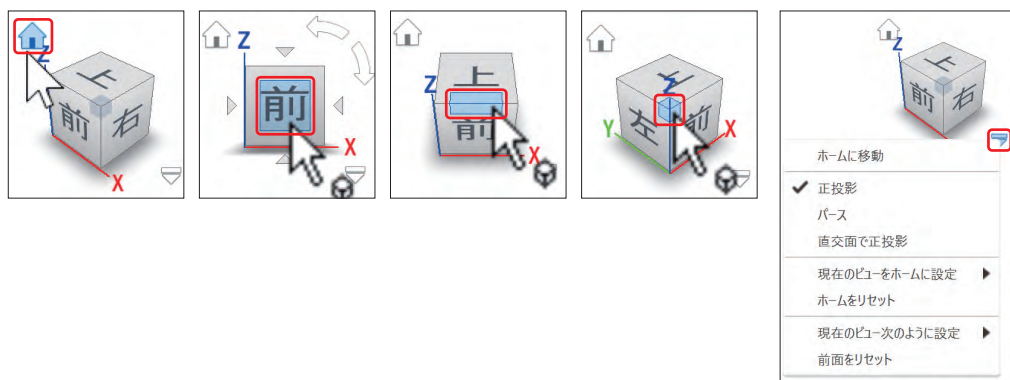
- ② アプリケーションバー：ファイルメニュー、保存、元に戻す／やり直し、通知センター、ヘルプ、アカウント設定などを操作できます。



- ③ ツールバー：デザイン、製造、図面などの作業スペースの切り替えと、作業スペースごとに異なるツールタブ(デザイン作業スペースではソリッド、サーフェス、メッシュなど)を切り替えられます。また、コマンド選択によりスケッチやフォームなど状況に応じて自動的にツールが切り替わります。

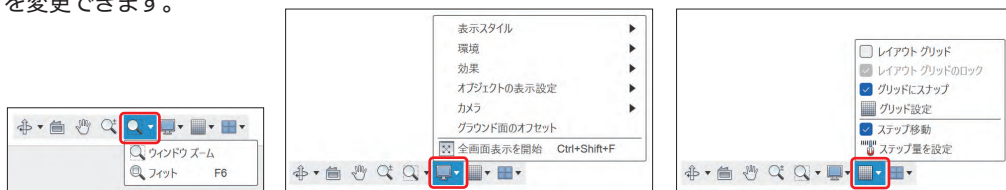


- ④ ブラウザ：開いているドキュメントの構成要素(ボディ、スケッチ、原点など)が一覧表示され、表示／非表示を切り替えられます。
- ⑤ キャンバス：3Dモデルや図面など、作業スペースに応じて表示が切り替わります。
- ⑥ ViewCube：3Dモデルを回転(オービット)させたり、正面から見ることができます。



- ⑦ マーキングメニュー：右クリックすると、実行可能なコマンドが表示されます。

- ⑧ ナビゲーション バー：ズーム、画面移動、回転、3Dモデル、グリッド、ビューポートの表示設定を変更できます。



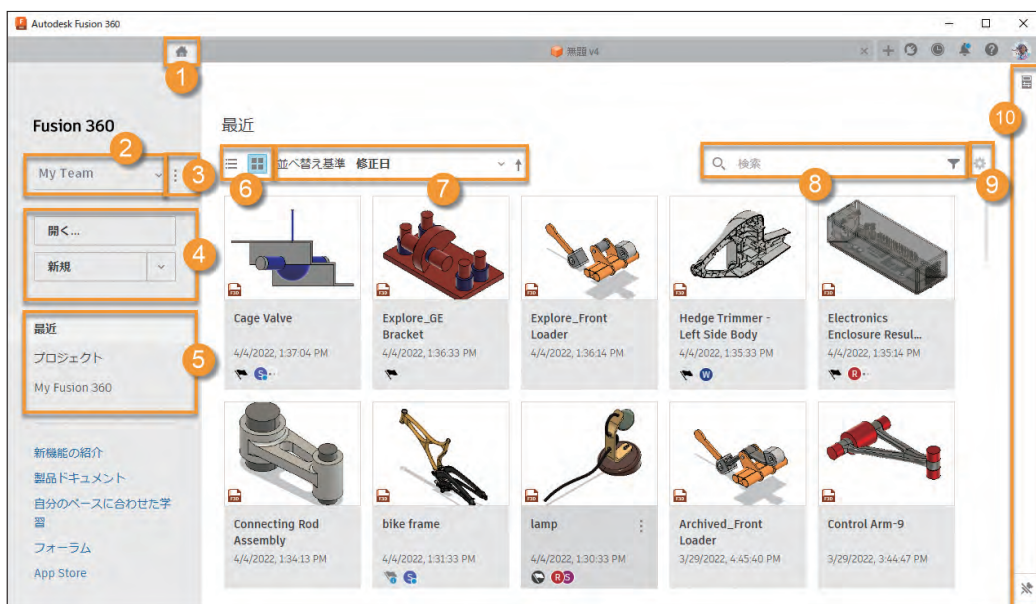
- ⑨ タイムライン：パラメトリックモデリングのドキュメントを開いている場合のみ、デザインの作成手順が時系列で表示されます。ほとんどの手順は右クリックで編集でき、ドラッグで順序を入れ替えることもできます。

## ✓ ホームタブ

2023年から新たに追加されたもので、最近使ったドキュメントが表示されたり、検索バーでドキュメントを見つけやすくなりました(2024年2月時点では、一部のユーザーにのみ表示されているようです。今後改善され、すべてのユーザーに公開されるはずです)。

[ホーム]タブ

<https://help.autodesk.com/view/fusion360/JPN/?guid=GS-HOME-TAB>



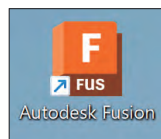
- ① ホーム画面に切り替わります。
- ② 複数のプロジェクトチームに属している場合、チームを切り替えられます。
- ③ 他チームに参加したり、チームやメンバーの設定ができます。
- ④ ドキュメントを開いたり、新たに作成できます。
- ⑤ 最近開いたプロジェクトやドキュメントが表示されます。
- ⑥ リスト表示／グリッド表示を切り替えられます。
- ⑦ グリッド表示を名前順、日付順に並べ替えられます。
- ⑧ 文字列を入力して検索できます。
- ⑨ リストの表示列をカスタマイズできます。
- ⑩ 選択したドキュメントのプロパティが表示されます。

## 1-4

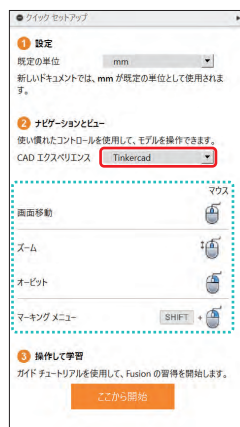
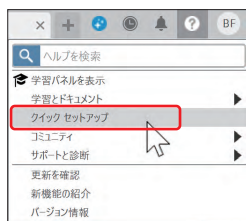
## 基本の設定をしよう

ユーザインタフェースの見方がわかったところで、Fusionを起動して、基本の設定をしていきましょう。

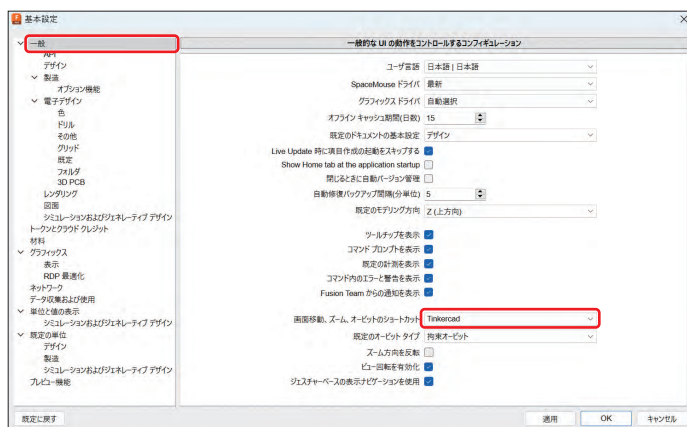
- 1 ソフトウェアをインストール後、デスクトップにショートカットが追加されるので、ダブルクリックで起動します(Macの場合はLaunchpadから)。



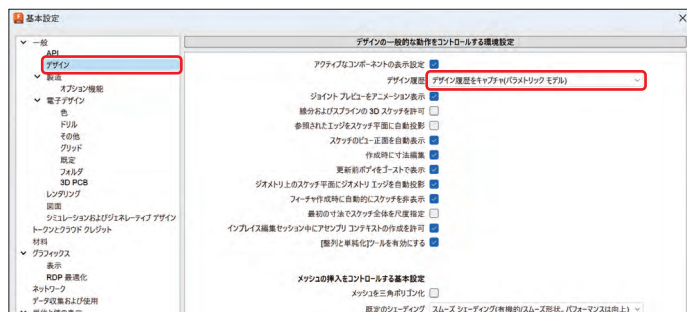
- 2 画面右上の?アイコンの[クイック セットアップ]をクリックします。クイックセットアップパネルの単位が「mm」であることを確認し、マウス操作の設定を好みに合わせて変更します(筆者はTinkercadの設定にしています)。マウス操作の画像が表示されるのでわかりやすいですね。



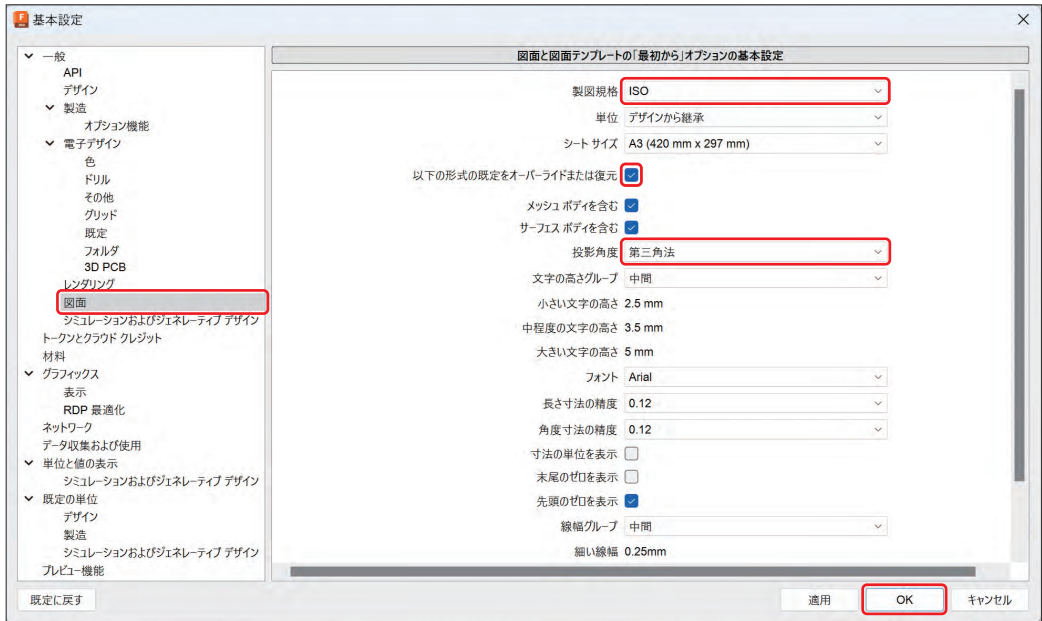
- 3 次に、右上のアカウントアイコンの[基本設定]をクリックします。左側の[一般]をクリックして、設定を確認します。ここでも「画面移動、ズーム、オービットのショートカット」の設定を変更できます。もしFusionが英語表示であれば、「ユーザ言語」で日本語に切り替えましょう。



- 4 続いて[デザイン]をクリックして、「デザイン履歴」が「デザイン履歴をキャプチャ (パラメトリックモデル)」になっていることを確認してください(本書ではパラメトリックモデリングしか扱いません)。



5 最後に[図面]をクリックして「製図規格」を「ISO」に変更し、「以下の形式の既定をオーバーライドまたは復元」にチェックを入れます。「投影角度」も「第三角法」に変更したら、設定は完了です。



## 1-5

## ヘルプ、サンプルを確認しよう

### ✓ ヘルプバー

ヘルプバーに「スケッチ」と入力してエンターキーを押すと、ヘルプページが開きます。わからない用語が出てきたら、ヘルプバーで検索してみましょう。

※学習パネルを表示、学習とドキュメントという項目がありますが、残念ながら文字化けしていたり、英語サイトが表示されるので、本書では取り上げません。日本語で表示されるのを待ちましょう。

